

森林文化記録映像 —森のくらし—

ふくしまで育まれてきた森林文化を知ることができます。記録映像をユーチューブで公開中! 夏休みの自由研究にどうぞ!

第1章 ふくしまの竹と笹



第2章 曲物



第3章 編み組細工

第4章 山御講

第6章 アケビつる細工

第7章 カジコ焼き

第8章 野鍛冶

第9章 わら細工

第10章 上川崎和紙

第11章 木を伐り活かす



第12章 会津鋸鍛冶

第13章 吊るし伐り

第14章 漆搔き

第15章 漆蝶

第16章 ふくしまの森林文化

第17章 桶作り

第18章 ふくしまの森の風景

YouTubeで公開中!



福島県森林文化

検索

第1回 ふくしま植樹祭 開催決定のお知らせ

「第69回全国植樹祭ふくしま2018」の開催理念を引き継ぐ「ふくしま植樹祭」の開催を決定しました。

この植樹祭は、ふるさと再生への思いを込めた植樹活動を行い、未来へつなぐ希望の森林(もり)づくりを加速することを目的として、第1回大会を今年11月4日に南相馬市鹿島区の海岸防災林において開催します。

復興に向けて力強く歩み続ける福島の元気な姿を広く発信し、福島への応援と共に輪を全国に広げていきます。



里山ってどんなところ?

里山とは、人里近くにあり、昔から人々が生活のために利用してきた山(森林)のことです。人々はその里山から、薪や炭、肥料など生活に必要なさまざまな恵みを受けて、暮らしをつきました。

適切な手入れをされている里山の周辺には人間の手によって田や畑、用水池などが作られ、昆虫や小動物などが集まって人と共生した豊かな生態系がつくられています。

里山

里山

【企画・編集】
福島県森林計画課
☎024(521)7425

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

夏休み特集
お子さんと一緒に
お読みください

里山の魅力発見

かつての里山の役割

かつて里の人々は、里山から燃料用の薪を集め、炭を焼き、山菜やキノコを探り、畑の肥料のための落ち葉や下草を刈ったり、人々の暮らしに密着した適度な働きかけによって、自然との共存のバランスがほどよく保たれていました。

里山の荒廃

しかし近年、薪や炭から石油などの化石燃料への移行等により、里山の価値は薄れていき、過疎化・高齢化も伴って、里山は徐々に荒廃してきました。

人の手が入らなくなった里山では、放置された林や耕作放棄地が拡大し、身近な動植物の生息域の消失や、奥山でくらしていた野生動物も人家周辺へ出没しやすくなり、農作物被害や人の危害を増加させています。

【挑戦】撮影/佐藤邦大 撮影地/三島町
(第28回ふくしま緑の写真コンクール金賞作品)

私たちの身近にある
里山を知り、
里山の魅力を
発見しましょう!

参加費無料
もうしごみふよう
申込不要

里山を知る体験イベントのお知らせ

里山をあそびつくそう!

里山の利活用をテーマとした体験イベントを開催します。

期間/8月6日~10日、16日~19日 時間/9:00~16:00
会場/フォレストパークあだたら

○「わくわく里山あそび~森の木でアスレチック~」

森の中のスラックラインやロングブランコで、

ムササビになってあそんじゃおう!

○「里山ってどんなところ展」

里山の役割や生き物などについて調べよう!

問 フォレストパークあだたら ☎0243-48-2040(代)

フォレストパークあだたら 植樹祭

里山の新たな価値

近年の都市化と過疎化の中で、里山は都市と山村の交流の場として見直されてきています。そして、各地で里山を復活させる動きが活発になってきました。里山の再生とともに動植物とのふれあいや自然の学習など、里山を子どもたちの環境教育の場として活用したり、炭焼き体験やキャンプ、トレッキングなど森林レクリエーションの場とするケースも増えてきています。

このように里山はかつてとは違う新しい価値「魅力」を持ち始めています。

さあ、皆さんも里山の魅力を見つけてみませんか。